

第8次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	街なか居住推進事業
-----	-----------

会計区分	一般会計	実施主体	市
根拠法令等	中心市街地活性化基本計画		
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	●実施(補助)期間 自 H20 ～ 至 継続

担当部	都市整備部	担当課	都市計画課
担当係	市街地整備室	内線	2742 課 No. 20040
関係課			

総合計画				基本計画の政策目標 (平成16年度→22年度)	
基本計画	章名	第3章 交流と文化によるまちのにぎわいづくりと地域を支えるものづくり		○宅地情報、空き家情報を活用した市外からの中山間地定住世帯数	→ 40世帯
	節名	第1節 交流と文化によるまちのにぎわいづくり			
	細節名	第7 にぎわいを創出する定住対策の推進			
	施策名	②都心居住の推進	該当ページ		
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン				4 人材誘致・定住対策の促進	
事業区分	新規	継続	● 施策No.	31-07-02	

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	平成19年度 事業内容	平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	備考	注意事項
<p>中心市街地の居住人口の回復を図るため、調査研究を行うとともに、民間活力による継続的な住宅供給が展開される新たな住宅供給方式が確立されるようモデルプロジェクトを推進する。また、住宅や公益施設の再整備を検討するため、住宅市街地総合整備事業に関する地元との協議等を継続して行う。</p>	<p>①街なか居住推進調査研究会の設置 ②街なか居住推進に関するアンケート調査の実施 ③街なか居住推進シンポジウム・セミナーの開催 ④新たなすまいかたを考える会の開催</p>	<p>①街なか居住推進調査研究会を設置し、街なか居住ニーズ等の把握のためのアンケート調査等を行うとともに、低未利用地に住宅等が供給されるサイクルの構築など、人口回復の促進策について検討し、提言を行う。 ②街なか居住推進シンポジウム・セミナーの開催 ③「新たな住宅供給方式(コーポラティブ方式 や定期借地権方式、敷地整序型土地区画整理事業 などを活用した方式)によるモデルプロジェクト」を実施する。 ④新たなすまいかたを考える会を開催する。</p>	<p>1. モデルプロジェクトの実施 ①建設委員会の設置 ②建設委員会の事業構想をもとに、コーディネーター及び建設計画案をプロポーザルにて募集、審査 ③新たな住宅供給方式のノウハウを持つアドバイザーの派遣</p> <p>2. 新たなすまいかたを考える会の開催 3. グループリビング体験入居施設整備事業の実施</p>	<p>1. モデルプロジェクトの実施 ①居住ニーズ調査 ②シンポジウム開催 ③新たな住宅供給方式のノウハウを持つアドバイザーの派遣 ④コーディネート費用に対する一部支援(繰越事業)</p> <p>2. 新たなすまいかたを考える会の開催 3. 街なか居住体験入居施設整備事業の実施(繰越事業) ①シンポジウムの開催</p>		<p>(注1) 事業内容は、①緊急性、②地域の実情、③効果、④熟度、⑤有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。</p> <p>(注2) 事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。</p>
事業の概要						
事業の対象者(交付先)	すべての市民					
事業費(百万円)	H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	H19~H22合計	
※百万円未満の事業費は、百万円に切り上げています。		7	28	3	38	
財源内訳(インプット)	一般財源	7	14	2	23	
	国庫支出金		14	1	15	
	県支出金					
	起債()					
その他()						